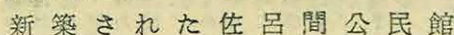


第 4 4 号

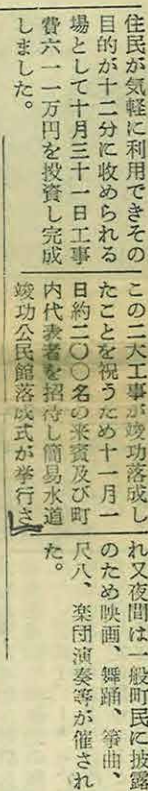
|       |                 |
|-------|-----------------|
| 發 行   | 佐 呂 間 町 役 場     |
| 發 行 人 | 佐呂間町長 船 木 長 一 郎 |
| 編 集 人 | 總 務 課 ・ 庶 務 係   |
| 印 刷 所 | 佐 呂 間 印 刷 所     |

佐呂間市街地域の飲料水については洗濯にもこと欠くほど水質が極めて悪く住民生活の苦難の的となつてゐる。又佐呂間公民館の建設については現今の社会状況より判断し速かに新設し青少年が飲料不適で水道施設以外に解決の道がないことが判明しその後施行方法や財政事情等の検討を重ねる反面利用者の世論動向も調査してゐる。簡易水道は一日最大給水人口四、〇〇〇人一日最大給水量六、〇〇〇屯の能力をもつてゐる。

設けなければならない町民の世論を背景として議会教育委員会に於て慎重に検討して本年八月直営工事をもつて着工、元町議事堂の箇所へ木造二階建て延面一七七坪八九ものものを建設内部備品については自治会をはじめ教育団体青年団連合会等凡ゆる団体の御協力を得て華美豪壮を排した極めて実用的な配備がなされ



晩秋の碧空に菊の花  
爛漫とする十一月三  
日文化の日に昭和三  
十年自治教育産業の  
伸展と道義の昂揚を  
図るため住民の師表  
たる方々を賞讃し以  
つて平和で強靱な郷  
土の総合的振興を期  
的をもつて制定され  
間町褒賞条例に基く  
表形式が新装となつた



公民館の大講堂で舉行された。本年度の被表彰者は自治功勞者九名産業功勞者十三名結婚五名計二十七名で次の方々である。

自治功勞者（いろは順）

|           |          |            |          |             |            |            |           |           |            |           |
|-----------|----------|------------|----------|-------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 浜佐呂間 林 貞夫 | 仁 倉部田 菊一 | 中 堀 香川嘉太郎  | 榮 片岡 丑治  | 幸 町 山元 邦良   | 大 成 山内 弥太郎 | 富 武士 船本 長藏 | 朝 日 福田 幸教 | 栃 木 峯崎 辰蔵 | 産業功勞者      |           |
| 知 米 伊藤 忠大 | 永 代町 林 葆 | 宮 前町 西田 要造 | 北 川 澁惣五郎 | 浜 佐呂間 高橋 政造 | 幸 町 黒沢 治一  | 知 米 黒沢 謙   | 知 米 黒岩 寛策 | 武 里 後藤 俊雄 | 武 里 遠藤 留八郎 | 武 里 青木 与雄 |

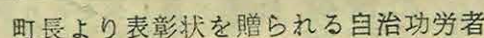
|    |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|
| 朝  | 仁 | 富 | 浪 | 川 | 栃 |
| 日  | 會 | 丘 | 速 | 西 | 木 |
| 水  | 藤 | 大 | 堀 | 瀬 | 守 |
| 上  | 野 | 戸 |   | 戸 | 口 |
| よし | カ | ミ | ト | 徳 | 勘 |
|    | メ | エ | ネ | 郎 | 治 |

江別市出身、昭和十一年生  
君見沢小学分校二類卒  
免許状（小学校二級、中学  
校二級（理科））  
九月一日置戸町勝山小学  
校転出の川又教諭後任

「復職」

浜佐居間小学校  
助教諭 赤坂 郁雄  
昭和三十三年十一月より休  
職中（全治復職）  
以上 九月一日付

十二月日より三十日迄



日より三十日迄を納税強調月間としまして滞納整理の一掃を期す可く計画して居ります。

納税貯蓄組合に未加入の方は必ず此の際加入して下さい。

十一月二十五日は国民健康保険税四期の納期日です。

十二月二十一日は固定資産税、道町民税四期の納期日です。

町税に全面的御協力をお願い致します。

力キ剥きコンク

佐呂間町、佐呂間漁協組并  
催による第二回佐呂間町カ  
キ対ぎコンクールの十一月  
七日開催。佐呂間湖特  
産養殖カキの品質向上と流  
流の円滑な促進を兼ねて、  
行なわれたが全道的に珍し  
いからなので、HBCテレ  
ニュース、NHK、道新、  
タイムス等報道関係が大衆

初冬を迎えて納税者の皆様には何かと御多忙の事と存じます。

憂慮せられました本年夏の天候もどうやら最悪の事態だけは切抜ける事が出来まして、收穫の作業、越年の準備等に毎日御苦勞様です町税につきましては納税貯蓄組合を主体としました全体的自主納税に御協力頂きまして、年々著しい収納率の上昇を見ました事は喜にたえません。

十月町弘報を以て、又組合長さんを通じましてお知らせ致しました納税貯蓄組合員の滞納税分割納入等の特別措置も本年十二月を以て打ち切りとなりますので此の期間中に必ず完納して下さい町税務課では来る十二月に

ちをてれさせたいが終始旺盛な敢斗精神で技を競い盛會裡に終了した。

一位 伊藤 寛子 一三五五  
二位 石川 富子 一三四五  
三位 日沼美和子 一三二五  
四位 沼美代子 一二六五  
五位 駒井 鶴子 一二六五  
努力賞

小松 松子 小坂 弘子 大隈  
真知子 小西 夏子 兼平 米

昭和三十五年度北海道開拓実習生の募集について

以上三十才未満の者で、単身入場し、所定の教習を受けることのできるもの。

(一) 学歴は制限しないが（新中卒程度の学力を有する者）、農業に経験を有し身体強健、志操堅固で北海道開拓の熱意を有する者。

2、募集人員 道内六〇名

3、実習場 十勝拓殖実習場（大樹町）

6、実習場修了者の取扱 実習場修了者は原則として北海道のあらかじめ指定する開拓地に入植せしめる。

(一) 開拓実習生募集選定

7、開拓手続 出願期日は昭和三十三年一月二十日まで

(二) 出願書類は居住地の市町村長を経由し支庁長に提出する。

# 公民館だより

## 佐呂間公民館11月1日よりスタート

待望の佐呂間公民館は、既り教育長以下職員全員事務所の通り十一月一日昼間は、所を公民館事務室に移して町内外関係者約二百名を招き、落成式を挙げて、夜で、教育委員会への御用は、近々一般住民の方々を、対象に落成記念、演芸と映画の夕を開催して、開館のスタートを切ったが、本年度は特に、建築費と明春三月までの維持費のみで、事業費の予算化が出来なかつた為、華々しい行事は、開し得べくもないが、明春三月迄に逐次内容整備を行って、町民の皆さんに親しめる公民館となる、様子が続けられる。



新築された佐呂間公民館全景

### ☆佐呂間公民館の利用さかん

佐呂間公民館はスタート以来連日の様に会議、婚礼披露宴、行事等に利用されて、管理の任にあつては、教育委員会事務局を喜ばせている。今後も皆さんの方々の公民館として大いに御利用をおすすめする。

今迄の使用結果並に十一月中の使用申込状況は十日現在で次の通りである。

|      |      |
|------|------|
| 催しもの | 五日間  |
| 会議   | 十一日間 |
| 結婚式  | 四日間  |

### 佐呂間公民館設置期成会内容設備に寄附金約百萬円をまとめる

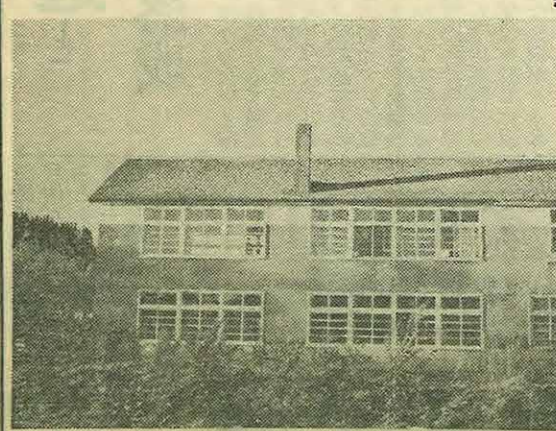
佐呂間公民館は建物のみは町費をもつて賄はれたが、内容設備については公民館地区の佐呂間市街、東、西、富、北の各住民の方々の熱心な後援により、公民館設置期成会が編成され、早くから着々運動をすすめていたが、この程ようやく目標の地元七十七万四千二百円の寄附金の目録がついて、地元住民の設置に対する熱意が立派に実を結び、公民館の機能が十分に高まることとが期待されている。

### 増築落成の高校々舎

## 佐呂間高等学校増築工事完成する

佐呂間町農林業振興のための教育の場として又、働きながら学ぼうとする勤労学徒の教育の場として地域の要望により昭和三十一年六月総坪数二五六坪の独立校舎を新築したのであります。昭和三十一年九月落成式が挙行され、同年九月に開校した。村若佐村と町合併するに及んで、激しい増築を促し、高校教育の重要性が再認識され、現在農林科四学級一八名普通科四学級一四名計八学級二二三名を擁し、高校教育の振興を期さんとして、この通りであります。

当初方針である農林科中心の教育施設において普通科教育の万全を期することができず、現校舎の増築を要望されていたのであります。本年度本町文教施設事業の一つとして当初計画八教室二〇〇坪を予定して、国庫補助 五九三、三〇〇円、町費負担 一七、七〇〇円、総坪数二階建九五坪（補助坪数五六坪）普通教室四教室八一、五坪、廊下三、五坪、計九五坪、請負業者佐呂間町幸町 吉田建設部吉田喜重氏。



### 明春四月の新入学児童を調査しています

町教委では明春四月一日小学校に新入学する児童を、目下各部落会長を通じて、予め住民登録により抄記した名簿を製作して再確認を行つていますが、これは町役場の住民登録だけでは、完全な調査が困難なため、更に部落会長による脱漏、誤記の調査を実施するもので、十一月二十日迄に提出することになっております。父兄保護者の方にも積極的に御協力の上、可愛い新一年生の入学に御支援下さい。

### 畑作営農改善集落指定される

北海道寒冷地畑作営農改善資金融通臨時措置法の施行に伴い、富田、トコロチ農事組合の五名が営農改善集落指定申請中、今般北海道知事の指定がなされるものと期待される。

### 管内薄荷増産共励会に優秀な成績を修める

今般管内薄荷栽培行事の一環として去る十一月八日北見市西小学校体育館に於いて共励会奨励式が行はれた。上本町からは良好な成績を挙げた。

### 中小商業者店舗施設改善資金貸付け

中小商業の経営合理化を促進し、その振興を図るため道において、中小商業者店舗改善資金貸付制度が定められ、中小商業者の店舗施設等の改善資金の融資を図ることに、この取組の要領について、佐呂間町弘報に四三三三、この詳細を掲載いたしました。本資金要領のうち取組金融機関等について追加になった事項があり、お知らせいたします。

### 教育委員長に菊池周蔵氏再選される

町教育委員長菊池周蔵氏は十月十三日任期満了となり、町民の投票により再選されました。菊池氏は、町民の教育振興に尽力され、町民の信頼を得て再選されました。

### 消防車増車する

佐呂間町の中心地である佐呂間市街に配置の消防団第一分団では、佐呂間市街を中心として、消防車の増車を計画しています。

### 冬の農閑期に洋和裁の生活技術を身につけよう

町教委では、冬場の農閑期を利用して、生活技術を身につけようとする。洋和裁の生活技術を身につけようとする。町教委では、冬場の農閑期を利用して、生活技術を身につけようとする。

### 秋の特別暴力団取締り

町内の皆さん警察では十一月一日から秋の特別暴力団取締りを実施して居ります。皆さんが毎日楽しく生活をするのを、おびやかすような、不良、ヤンキー等を、この街から追放しよう。

### 定相談所について

定相談所については、本年度実施の状況を充分検討し、漸次拡大する。道が金融機関へ委託した額、四〇〇万円。

最近二、三人の最も悪い子して活動しています。